

## 《 予算案のポイント 》

- Society5.0の実現に向けた科学技術・イノベーションの推進 等

科学技術・イノベーションの推進を図るため平成31年度予算額（案）において、データヘルス改革の推進、医療系ベンチャーの振興、保健医療分野等の研究開発の推進、医薬品・医療機器等の研究開発促進に必要な経費など、統合イノベーション戦略を踏まえた経費を計上。

## 《 主な重点施策 》

## データヘルス改革の推進

平成31年度予算額（案）：722億円  
（平成30年度予算額：172億円）

- ▶ 「保健医療データプラットフォーム」構築に向けて、NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）や介護保険総合データベース等の各種データベースで保有する健康・医療・介護情報を連結して分析可能な環境の整備等を行うとともに、全国的な保健医療情報ネットワークの整備に向けた実証等を行う。また、2020年度からの本格運用を目指し、医療保険のオンライン資格確認等のシステムの開発を行う。
- ▶ 医療ICT化促進基金（仮称）の創設

## 医療系ベンチャーの振興

平成31年度予算額（案）：7.9億円  
（平成30年度予算額：7.3億円）

アカデミアや大手企業から医療系ベンチャーへの人材交流の促進、医療系ベンチャーと製薬企業等とのマッチングイベントの開催、医療系ベンチャー振興推進会議における支援施策の検証等により、医療系ベンチャーの一層の振興を図る。

## 保健医療分野等の研究開発の推進

平成31年度予算額（案）：582億円  
（平成30年度予算額：570億円）

- ▶ 日本医療研究開発機構（AMED）において、革新的医薬品、がん、難病、感染症、認知症等に関する研究開発支援を行い、革新的な医療技術を実用化するための研究開発等を推進するほか、科学的知見に基づく厚生労働省の施策の推進に必要な研究を促進する。
- ▶ リアルワールドデータを用いた臨床研究・治験を推進するため、臨床研究中核病院における診療情報の標準化・連結を進め、疾患登録システムを活用した「クリニカル・イノベーション・ネットワーク」（CIN）構想を推進する。
- ▶ 重点6領域（ゲノム医療、画像診断支援、診断・治療支援、医薬品開発、介護・認知症、手術支援）を中心に、AI開発を効率的・効果的に推進する。

## 医薬品・医療機器等の開発促進

平成31年度予算額（案）：7.0億円  
（平成30年度予算額：4.3億円）

バイオ医薬品の製造・開発等に関する研修を行うほか、医療現場のニーズに基づいて医療機器を開発できる人材を育成する拠点医療機関の支援を行う。また、再生医療の臨床研究を推進するため、臨床研究計画への技術的支援のほか、国内外の研究者の人材交流、データベースの国際的な利活用等への支援を行う。